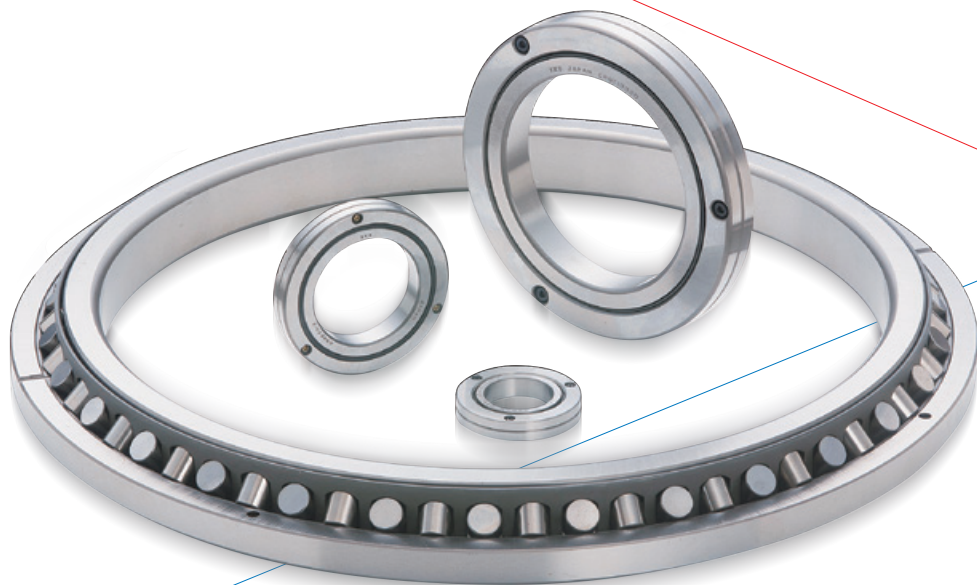


証券コード 6480

IKO

第73期 中間報告書

2021年4月1日▶2021年9月30日



日本トムソン株式会社



長期ビジョン「**IKO VISION 2030**」の実現に向け、**IKO中期経営計画2023**を推進し、**安定的な利益確保と持続的な成長を目指します。**

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社第73期第2四半期連結累計期間（2021年4月1日から2021年9月30日まで）が終了いたしましたので、当社グループの営業の概況につきましてご報告申し上げます。

代表取締役社長
宮地 茂樹

【経営理念】

— 社会に貢献する「技術開発型企業」 —

日本トムソンは、軸受および軸受関連機器などの重要機械要素の製造販売を通じてお客様に信頼され、必要とされる企業です。さらに存在感のあるグローバルカンパニーとして成長を目指すため、技術と情熱のすべてを傾注してお客様が抱える問題を解決していく技術開発型企業を目指します。

IKO 中期経営計画2023の基本戦略

基本方針「**深化**」

— 今を強くする —
既存ビジネスのさらなる深掘り

基本方針「**挑戦**」

— 未来を創る —
新技術・新領域への挑戦

基本方針「**変革**」

— 強靱な経営基盤 —
行動変革・組織能力変革・デジタル変革

IKO 中期経営計画2023
計数目標（3か年平均）

| | |
|------|--------|
| ROE | 5%以上 |
| 営業利益 | 45億円以上 |

当第2四半期の事業環境について

当第2四半期連結累計期間における経済情勢は、新型コロナウイルス感染症の再拡大により依然として不透明な状況が続いたものの、各国政府の政策効果等により経済活動は正常化に向かい、製造業を中心に企業の生産活動や設備投資は持ち直しの動きが見られました。

当社グループの営業状況について

国内市場においては、半導体製造装置や電子部品実装機等のエレクトロニクス関連機器や工作機械向けを中心に売上高は増加いたしました。北米地域では、エレクトロニクス関連機器や医療機器・精密機械等の一般産業機械、市販向け等を中心に売上高は増加いたしました。欧州地域では、エレクトロニクス関連機器や一般産業機械、市販向け等を中心に売上高は増加いたしました。中国では、需要が全般的に回復し、売上高は大幅に増加いたしました。その他地域では、ASEANや韓国等の需要が回復し、売上高は増加いたしました。

今後の見通しと課題

今後の見通しにつきましては、鋼材価格や物流費等のコスト上昇要因があるものの、エレクトロニクス関連機器向けなどの設備投資需要は堅調に推移するものと予想されます。

このような状況の中で、当社グループといたしましては、軸受等の製造販売を通じて、世の中から信頼され、必要とされ、さらに存在感のある企業グループとして発展していくために本年4月より3年間の「**IKO**中期経営計画2023～深化・挑戦・変革～」をスタートさせました。『お客様への価値を高める』真の技術開発型企業を目指すほか、SDGsの達成に向けた**IKO**グループマテリアリティを特定し、環境・社会課題の解決に向けた取り組みを推進してまいります。

販売面におきましては、市場のニーズが高度化・多様化するなかで、「お客様から真っ先に相談していただける会社」を

目指し、お客様の抱える問題やビジョンに即した価値あるソリューション提案力を強化するとともに、Webコンテンツ等を活用して**IKO**ブランドの高い技術力を発信し、グローバル市場での認知度向上に努めてまいります。

製品開発面におきましては、テクノロジーの進化による経済社会構造の変革が進むなか、産学官のオープンイノベーションを推進し、新たな価値を社会に提供してまいります。同時に、製品競争力強化のための人材育成および組織の最適化に取り組むことにより、新成長領域への製品開発力・新ビジネスの企画力・それらを支える知財戦略の強化を図り、お客様の視点に立った製品開発・市場開拓に取り組んでまいります。

生産面におきましては、全社販売戦略に確実かつタイムリーに対応できる生産供給力の実現に向け、材料・部品等の最適なグローバル調達や設計規格の見直し等、上流からの抜本的な改革に着手し、工程の自動化・新工法の確立等の生産体制の改革を強力に推進してまいります。また、国内外生産拠点のそれぞれの利点を最大限に活かし、最適地生産や的確な役割分担により、品質・価格・納期それぞれの面で競争力の強化を図ってまいります。

このように、グループ一丸となった事業活動やご提供する製品・サービスを通じて、機械産業の技術革新と社会の発展に貢献してまいります。

当期の業績見込み（連結）

(2021年11月12日現在)

| | |
|-----------------|------------|
| 売上高 | 61,000 百万円 |
| 営業利益 | 5,100 百万円 |
| 経常利益 | 5,500 百万円 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 4,200 百万円 |

第73期 中間配当金

6円

支払期間 2021年12月9日～2022年1月11日

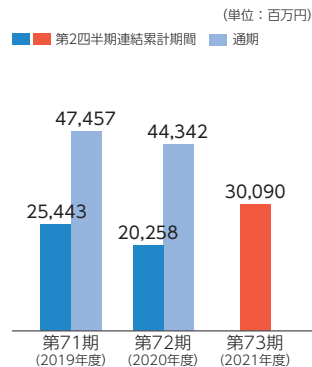
2022年3月期第2四半期業績



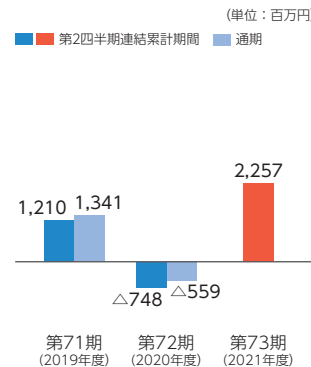
ポイント解説

| | |
|------|--|
| 売上高 | エレクトロニクス関連向けをはじめ、幅広い分野で需要が回復し、前年同期比48.5%増収 |
| 営業利益 | 増収・増産および為替の円安効果等もあり2,257百万円計上(前年同期は営業損失748百万円) |
| 受注高 | 前年上半期を底に急回復し、前年同期比約2倍(107.1%増)と好調継続 |

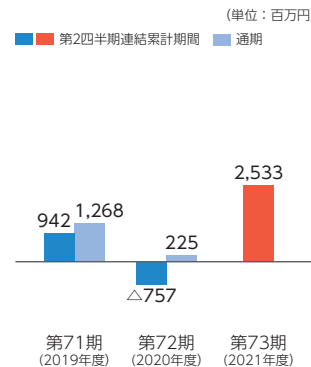
売上高



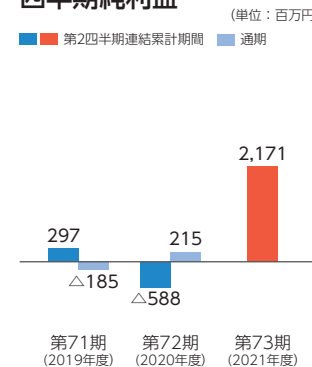
営業利益



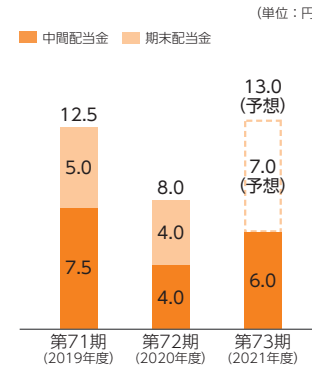
経常利益



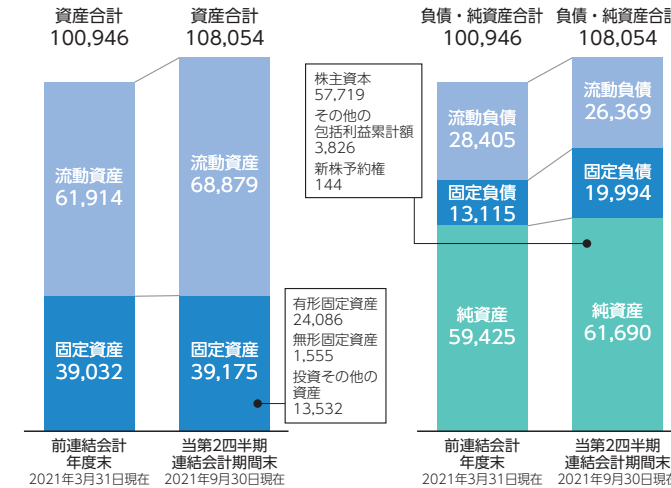
親会社株主に帰属する四半期純利益



配当金



連結貸借対照表 (単位：百万円)



資産合計

前連結会計年度末に比べ7,107百万円増加し108,054百万円となりました。これは主に、現金及び預金5,038百万円、受取手形及び売掛金2,701百万円、繰延税金資産640百万円等の増加と、棚卸資産371百万円、有形固定資産439百万円等の減少によるものであります。

負債合計

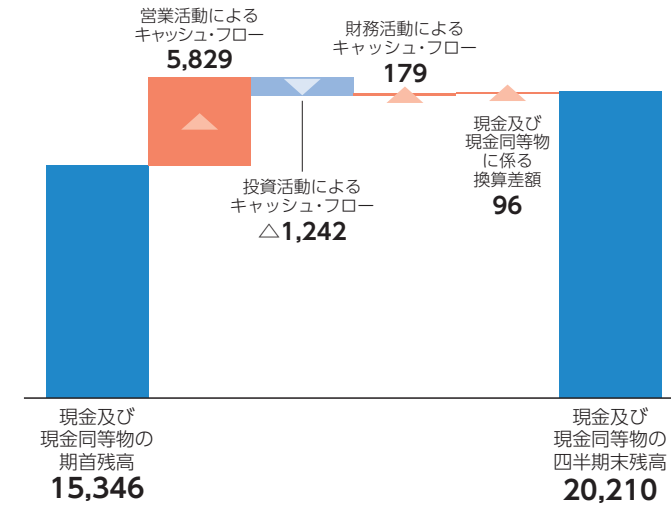
前連結会計年度末に比べ4,842百万円増加し46,363百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金3,201百万円、長期借入金1,786百万円の増加等によるものであります。

純資産合計

前連結会計年度末に比べ2,265百万円増加し61,690百万円となりました。これは主に、利益剰余金1,882百万円、為替換算調整勘定299百万円の増加等によるものであります。

連結キャッシュ・フロー計算書 (単位：百万円)

当第2四半期連結累計期間 (2021年4月1日から2021年9月30日まで)



営業活動によるキャッシュ・フロー

5,829百万円の収入となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益2,533百万円、減価償却費1,944百万円、仕入債務の増加額3,093百万円等による収入項目と、売上債権の増加額2,577百万円等の支出項目との差額によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フロー

1,242百万円の支出となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出961百万円等によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フロー

179百万円の収入となりました。これは主に、長期借入れによる収入4,000百万円等の収入項目と、短期借入金の返済による支出1,200百万円、長期借入金の返済による支出2,213百万円、配当金の支払額290百万円等の支出項目との差額によるものであります。

部門別の概況

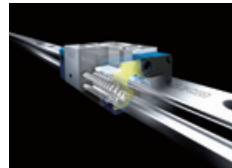
軸受等

針状ころ軸受および直動案内機器等

機械の回転部分に組み込まれる「ニードルベアリング」、搬送や位置決め機構として使用される「直動案内機器」、直動案内機器と駆動部品、電装品などを組み合わせた精密位置決め装置である「メカトロ製品」を開発・製造・販売しています。



あらゆる産業で不可欠な機械要素部品
ニードルベアリング



地球環境の負荷軽減に貢献する直動案内機器
直動シリーズ

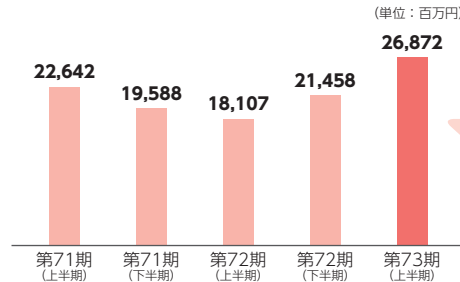


精密加工技術とエレクトロニクスの融合
メカトロシリーズ

売上高

26,872百万円

前年同期比
48.4%増



ポイント

- ニードルベアリングは、二輪車等の輸送機器や医療機器、海外代理店向けが回復
- 直動案内機器は、エレクトロニクス関連機器や工作機械、代理店向けを中心に需要増加

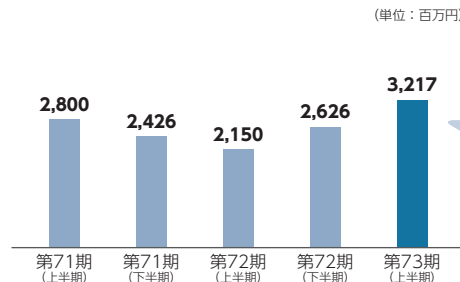
諸機械部品

自社製品を組み込んだシステム製品等の付随商品

売上高

3,217百万円

前年同期比
49.6%増

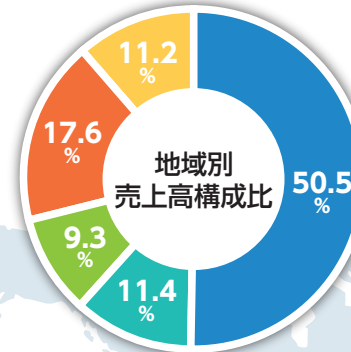


ポイント

- エレクトロニクス関連機器や工作機械向けを中心に増加

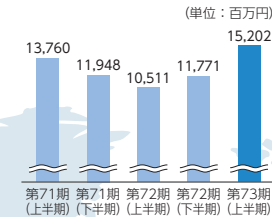
地域別の概況

売上高
30,090百万円



日本

15,202百万円



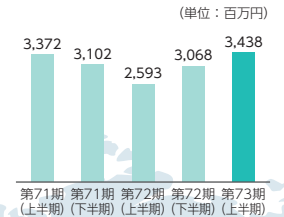
前年同期比
44.6%増

ポイント

エレクトロニクス関連機器や工作機械向けを中心に需要増

米州

3,438百万円



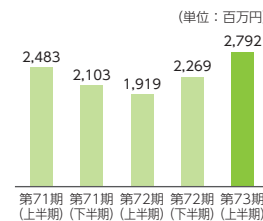
前年同期比
32.6%増

ポイント

エレクトロニクス関連機器や医療機器、精密機械向けが好調に推移

欧州

2,792百万円



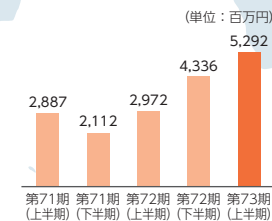
前年同期比
45.5%増

ポイント

エレクトロニクス関連機器や一般産業機械向けを中心に需要拡大。円安も寄与

中国

5,292百万円



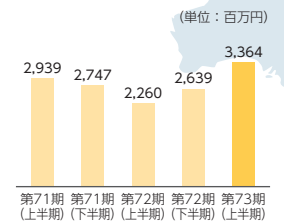
前年同期比
78.0%増

ポイント

需要が全般的に回復し、大幅増

その他

3,364百万円



前年同期比
48.9%増

ポイント

ASEANや韓国等の需要が回復

パソコンやスマートフォン、
液晶テレビをつくる装置などにも



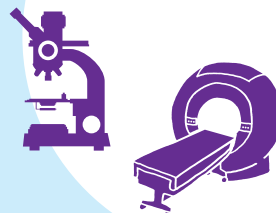
- エレクトロニクス関連装置**
- 半導体製造装置
 - ディスプレイ製造装置
 - 電子部品実装機
 - 電子部品検査装置
など

ビルをつくる建設機械や
ロボットなどにも



- 産業用機械**
- 印刷機械
 - 建設機械
 - 繊維機械
 - ロボット
など

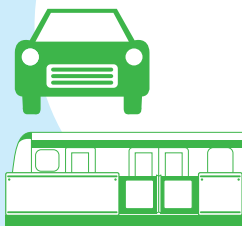
病院の医療機器や
研究所の計測機器などにも



- 精密機器**
- 計測機器
 - 医療機器
 - 光学機器
など

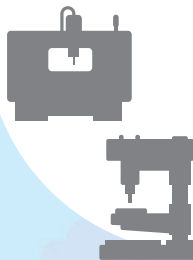
暮らしを支える IKO

車・オートバイ・鉄道・
ホームドア・航空機などにも



- 輸送機器・交通関連**
- 自動車
 - オートバイ
 - 鉄道車輛
 - ホームドア
 - 航空機
など

さまざまな製品を
つくるための機械などにも



- 工作機械**
- マシニングセンタ
 - 複合加工機
 - 旋盤
 - 研削盤
 - 放電加工機
など

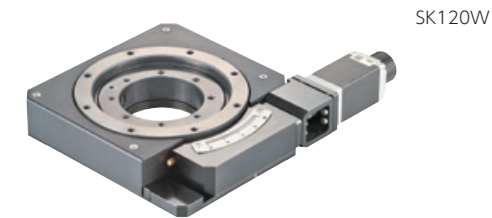


私たちの暮らしの身近なところでも **IKO** 製品が活躍しています

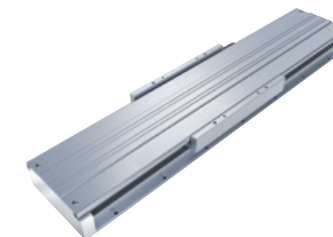
トピックス

IKOメカトロシリーズとして新たに2品目を開発

このたび、**IKO**メカトロシリーズとして新たに2品目を開発しました。
1つ目は、高精度・高剛性でなめらかな位置決めを実現するウォームギア機構を採用した回転ステージ『SK120W』です。回転案内内部にあらゆる方向に対して高剛性を発揮するクロスローラベアリングを採用することで、高精度・低断面・高剛性な無限回転ステージを実現しています。
2つ目は、コンパクトで高い速度安定性と静止安定性を特長とするリニアモーターテーブルTシリーズに新たに追加した『高推力仕様2』です。これは既存の高推力仕様1と比較して約17%の定格推力アップを図っており、さらなる高加減速・高応答な位置決めを実現し、タクトタイムの短縮によって生産性の向上に貢献します。



SK120W



LT170LDT 高推力仕様2

海外における展示会出展のご報告

当社グループでは、引き続きさまざまな地域において展示会出展活動を行ってまいりました。

中国では、中国華南地域最大の機械展示会SIMMへ出展しました。昨年は新型コロナウイルス感染症の影響で開催時期が変更となりましたが、今年は例年どおりに開催し、来場者数140,000名以上、出展社数2,000社以上と活気のある盛大な見本市となりました。

米国では、カリフォルニア州アナハイムにおいて、米国西海岸では最大規模の自動機市場向け複合展示会であるATX West 2021に出展しました。米国では、未だ自宅からリモートワークをしている顧客も多いことから、Web会議等を活用した営業活動を積極的に展開していますが、新規顧客の開拓は容易ではないため、改めて対面展示会の利点を実感することができました。

このように、今後も展示会等を通じてPR活動を強化し、当社ブランドの浸透に努めてまいります。



ATX West 2021の様子

株式会社および会社の概要 (2021年9月30日現在)

株式の状況

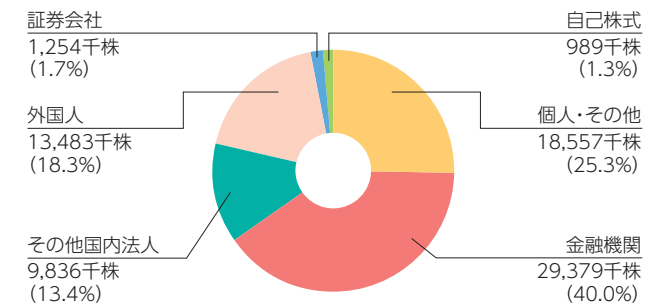
| | |
|----------|----------------------------------|
| 発行可能株式総数 | 291,000,000株 |
| 発行済株式の総数 | 72,511,862株 (自己株式989,563株を除く) |
| 株主数 | 9,873名 (前期末に比べ397名減) |

大株主および持株数

| 株主名 | 持株数(千株) | 持株比率(%) |
|---|---------|---------|
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) | 7,739 | 10.67 |
| 株式会社日本カストディ銀行(信託口) | 6,460 | 8.90 |
| 日本トムソン取引先持株会 | 5,186 | 7.15 |
| 日本生命保険相互会社 | 4,262 | 5.87 |
| 株式会社不二越 | 2,008 | 2.76 |
| 日本トムソン従業員持株会 | 1,676 | 2.31 |
| 株式会社三菱UFJ銀行 | 1,612 | 2.22 |
| みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 みずほ銀行口再信託受託者 株式会社日本カストディ銀行 | 1,305 | 1.79 |
| DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO | 1,137 | 1.56 |
| 株式会社日本カストディ銀行(信託E口) | 1,091 | 1.50 |

(注) 1. 当社は自己株式を989,563株(1.34%)保有しております。
2. 持株比率は自己株式(989,563株)を控除して算出しております。

所有者別株式分布状況



会社概要

| | |
|------|--|
| 商号 | 日本トムソン株式会社 |
| 英文商号 | NIPPON THOMPSON CO., LTD. |
| 商標 | IKO |
| 設立 | 1950年(昭和25年)2月10日 |
| 本社 | 東京都港区高輪二丁目19番19号 TEL.03-3448-5811 |
| 資本金 | 95億3,317万390円 |
| 従業員数 | 2,702名(グループ合計) |
| 営業品目 | 針状ころ軸受(ニードルベアリング)等 直動案内機器(直動シリーズ、 メカトロシリーズ) 諸機械部品 |

役員等

取締役

| | |
|---------|-------|
| 代表取締役社長 | 宮地 茂樹 |
| 専務取締役 | 田中 一彦 |
| 常務取締役 | 木村 利直 |
| 常務取締役 | 下村 康司 |
| 常務取締役 | 岡嶋 徹 |
| 取締役 | 笠原 信 |
| 社外取締役 | 武井 洋一 |
| 社外取締役 | 齊藤 聡 |
| 社外取締役 | 秀島 信也 |

執行役員

| | |
|--------|-------|
| 上席執行役員 | 横田 保則 |
| 上席執行役員 | 高梨 良成 |
| 上席執行役員 | 中野 孝裕 |
| 執行役員 | 横山 健司 |
| 執行役員 | 中島 康 |
| 執行役員 | 有賀 正昌 |
| 執行役員 | 手塚 修一 |
| 執行役員 | 多胡 弘顯 |
| 執行役員 | 佐藤 聡 |
| 執行役員 | 石原 豊久 |
| 執行役員 | 細野 幹人 |
| 執行役員 | 土持 敦志 |

監査役

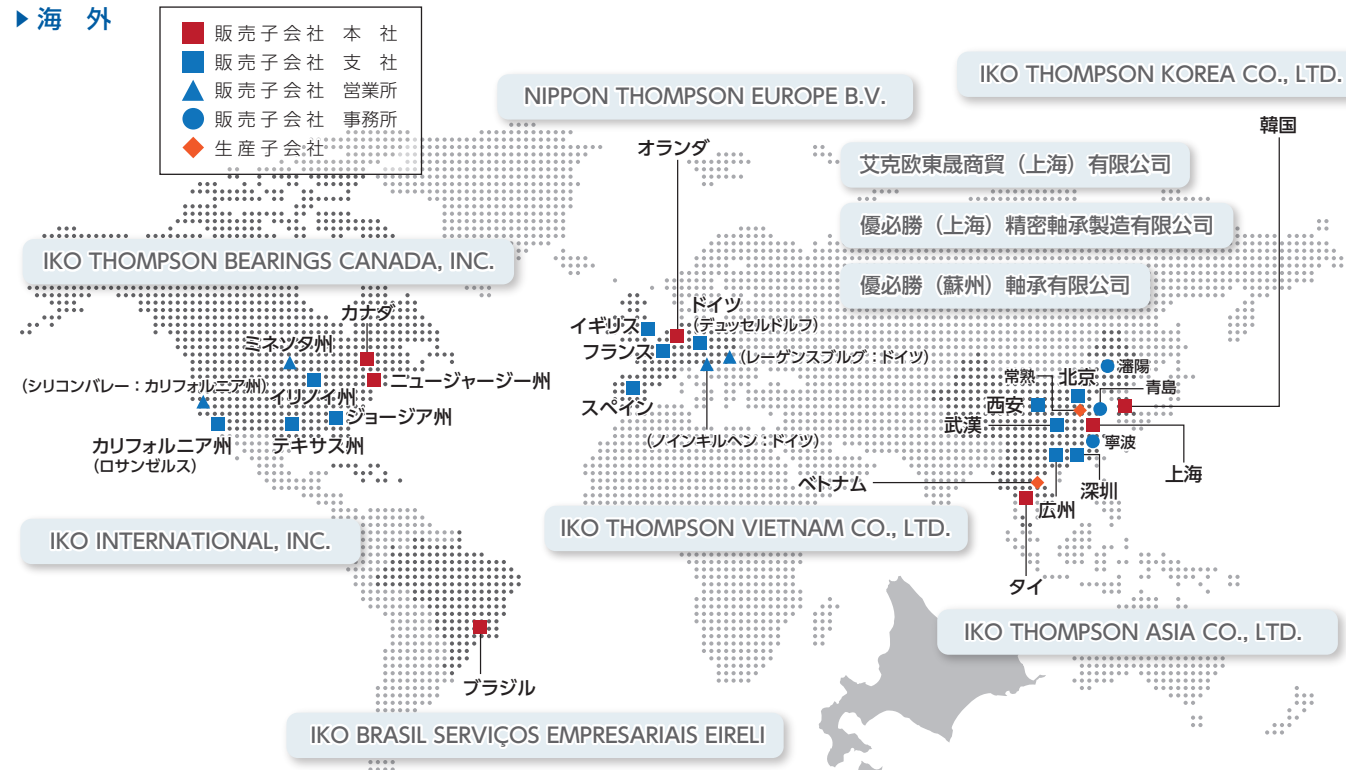
| | |
|-------|-------|
| 常勤監査役 | 後藤 敏彦 |
| 社外監査役 | 那須 健人 |
| 社外監査役 | 木村 和彦 |
| 社外監査役 | 林田 和久 |

会計監査人

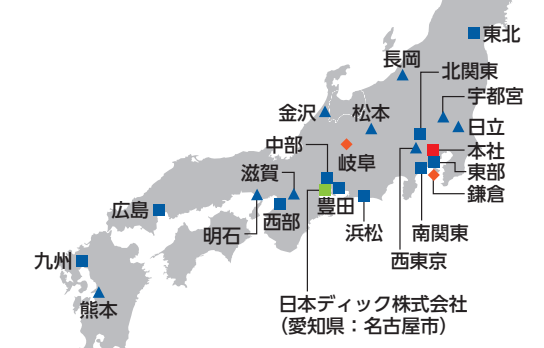
有限責任監査法人トーマツ

グループネットワーク

海外



国内



株主メモ

| | |
|-------------------|---|
| 事業年度 | 毎年4月1日～翌年3月31日 |
| 定時株主総会 | 毎年6月 |
| 配当金受領株主 確定日 | 毎年3月31日 (中間配当を行う場合：毎年9月30日) |
| 基準日 | 毎年3月31日 上記のほか必要があるときは、取締役会の決議により定め、これを公告する。 |
| 株主名簿管理人 | 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 |
| 特別口座の 口座管理機関 | 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 |
| 郵便物送付先 (電話照会先) | 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 TEL. 0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店 で行っております。 |
| 単元株式数 | 100株 |
| 上場取引所 | 東京証券取引所 |
| 公告方法 | 電子公告とする。ただし、事故その他やむを得ない事由によっ て電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済 新聞に掲載する。 |

ホームページをご活用ください



<https://www.ikont.co.jp/>

決算短信等、最新の会社情報を当社ホーム
ページ「IR情報」に掲載しております。

Oil Minimum

地球環境に貢献する **IKO**

IKO日本トムソンは、地球環境に優しい製品の
開発を進めています。

「製品を通してお客様の機械・装置への
信頼性を高め、地球環境に貢献する」
このような当社の開発姿勢をイメージする
キーワードが
「Oil Minimum」です。

日本トムソン株式会社



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。